

平成27年度第2回金沢市障害児・者福祉施設連絡会議 報告書

日 時	平成28年3月4日（金）14：00～15：00
場 所	金沢福祉用具情報プラザ 2階 研修室
出席者	会 員 17人 （欠席：愛育学園、アカシアの里、彦三のぞみ苑、鈴見台虹の家）
行 政	市障害福祉課 小西主査
事務局	後出常務理事・事務局長、安田館長、鳥本専門員
議案審議 結果	<p>（1）平成27年度事業報告および決算報告について 事務局より資料に基づき説明し、承認された。</p> <p>（2）平成28年度事業計画（案）及び予算（案）について 事務局より資料に基づき説明し、承認された。</p> <p>・研修会について 事前アンケートの結果に基づき、研修内容は「障害者虐待防止法と障害者の虐待について」に決定した。</p>
行政説明	<p>会員からの事前質問事項について、金沢市障害福祉課より説明があった。</p> <p>（1）地域生活支援拠点の動向 平成29年度までに居住支援機能と地域相談支援、地域生活支援事業などの地域支援機能を併せ持つ施設を少なくとも1つ整備することを目標としている。それに向け、来月にも専門部会を設置して障害のある方の生活を地域全体で支えるシステムの構築を目指して検討を進めているところである。</p> <p>（2）グループホームの計画的整備についての進捗状況 市の障害福祉施設整備の優先順位として、グループホームの整備を第1位としている。グループホームの新規創設やスプリンクラー等の消防設備の設置を、優先的に国庫補助等を活用して整備している。平成26年度には5件、平成27年度には現在までに6件の国庫補助を活用した形でのグループホーム整備が行われた。今後も優先的に整備を進めていく考えである。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点の専門部会のイメージ的なものはあるのか、また市内のどこに作る予定なのか、運営についてはどうなのか。（ワークショップひなげし：瀬町氏） ⇒まだ具体的には決定していない。現状を把握し、地域ごとの振り分けで順位付けのようなことはしている。駅西地区当たりが中心になるのではないか。（市障害福祉課 小西主査） ・賃貸物件でグループホームを経営しているところも多いと思うが、賃貸契約は2年更新だったりするので、国庫補助を受けられることになっても賃貸契約がネックになるという懸念について、少し考えていただきたい。（ワークショップひなげし：瀬町氏） ⇒国庫補助を利用した際には、長く利用してほしいと思う。グループホームは賃貸物件が多いということも把握してはいる。（市障害福祉課 小西主査）
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足という問題はどこの施設も抱えていると思うが、何か人材を募集、発信するための取り組みというものができないかという思いがある。具体的なイメージはないが、仕事の楽しさや、生き生きしている職員の様子を伝えられたら良い。（ワークショップひなげし：瀬町氏） ・専門の学校で福祉を学んで卒業した方は来たとしても、欠員補充として職安などに広報しても厳しい状況。共通の問題だと感じているので、いい提案だと思う。（たけまた友愛の家：吉谷氏） ・「福祉しごとガイダンス」に行くこともあるが、高齢者施設の求人ブースが多い。高齢者系はモニターを利用するなどブースが派手で、募集定員も多いが、障害系は地味で募集定員も少ない傾向にあり、どうしても高齢者施設の方が学生に対して入り口が広いイメージがある。大学生や専門学校生に対して障害福祉に関して学べたり、興味を持ってもらえるような企画を打って出るというのも確かに大切だと思った。（障害福祉サービス事業所いそべ：蓑氏） ・夢工房では採用試験の前に、施設見学をしてもらい、話をして納得してもらおうようにしている。それと現在、施設紹介のDVDを制作している。PRにつながればと考えているが、これからは施設自体も努力していかないとけない。福祉人材センターに依頼することもあるが、任せきりではいい返事が来ることがない。（夢工房：奥野代表幹事）

- ・最近では福祉系学校以外のところから応募が来るようになった。金沢市も地方創生で言えば若者定着を最重要課題にしているため、その若者定着先に社会福祉法人も視野に入れて取り組み支援してもらえると嬉しいと考えている。（Share 金沢：奥村氏）
- ・3月2日の北國新聞にも「必要なのに待遇が低い」との記事が掲載されていた。措置の時代は給料が公務員に準じていたが、今はものすごく格差があると思う。（夢工房：奥野代表幹事）
- ・障害福祉課の方でも福祉人材の啓発について力を入れて欲しい。（ワークショップひなげし：瀬町氏）
- ・高齢者介護や保育士確保については、国や県をあげて人材確保に取り組もうという話題が新聞を賑わせていると思うが、障害の分野についてはあまり聞こえてこない気がする。障害福祉課にもこの議案について持ち帰っていただき、障害福祉計画の整備計画においても、当然人材は必要になるので、計画に併せて専門部会等でも検討していただければと思う。（事務局：後出常務理事・事務局長）
- ・職員を別の事業所に取られるのではないかと不安は常にあり、他の法人の給料体系が気になっている。指針となる金額がわかれば良いと思う。（ふじのき寮：藤井幹事）